

地域社会発展に向けて

包括的連携協定を締結

市では、「未来輝く産業・定住拠点都市」を目指して、多分野にわたる団体と、地域社会発展に向けた包括的連携協定を締結しています。

今回、新たに3社と協定を締結しました。これで本市と各団体との協定は、16団体となります。

プライムスイッチ株式会社との協定

プライムスイッチ株式会社（本社：東京都）は、本市が行なっているクリエイター育成事業「熊本こうし響創塾」の運営に携わっており、また、熊本高等専門学校と連携して、アプリの開発・研究・販売などアニメやマンガ、ゲームのコンテンツ開発事業に取り組んでいます。

今後、同社が有するマーケティングの強みを生かし、本市の目指す、アニメを生かしたまちづくりとコンテンツ産業の発



プライムスイッチ(株)内村安里代表取締役社長(右)

展のため、基本協定書を締結し、連携協力体制を確立しました。

自然電力株式会社との協定



自然電力(株)磯野謙代表取締役社長(右)

熊本製粉株式会社と本市とのメガソーラー建設事業で、設計などを担った自然電力株式会社（本社：東京都）は、現在、総務省の補助事業を活用し、本市における再生可能エネルギーの売電収入を利用した地域活性化の検討を行なっています。

今後この調査結果を基に事業を実施するにあたり、同社と密接に連携し、事業効果を最大限に引き出すために連携に関する基本協定書を締結しました。

五木食品株式会社・新日本製菓株式会社との3者協定

新日本製菓株式会社と本市は、平成23年4月より漢方薬や甘味料などで幅広く使われる薬用植物「甘草」の特産品化に向けて共同研究に取り組んでいます。

今後、甘草をはじめとした付加価値の高い農産物を活用した地域の商工業・農業の振興や、地域発展に向けた取り組みを効果的に推進するため、五木食品株式会社（本社：熊本市）との3者による包括的連携に関する協定を締結しました。



五木食品(株)住尾浩二代代表取締役社長(中央)と新日本製菓(株)後藤孝洋代表取締役社長(右)

地域の安心・安全を守る消防団

平成25年合志市消防出初式

1月20日、西合志南中学校グラウンドで合志市出初式が行なわれ、消防団員422人が参加し、消防活動への決意を新たにしました。

団員全員による力強い分列行進の後、団体としての行動・規律の点検や基本動作、服装を確認する通常点検と機械器具点検が行なわれました。各分団とも

日頃の訓練の成果を十分に発揮し競い合いました。

また、かすみ保育園の幼年消防クラブが通常点検を行ない、園児たちは大人の団員に負けな

いくらいの大きな声で元気よく「防火の誓い」を宣誓し、大勢の観客を魅了していました。

式では、永年勤続功労表彰なども行なわれました。



団員のりりしい動き

通常点検成績

- 第1位 本部機動班（市職員）
- 第2位 第11分団（御代志）
- 第3位 第4分団（上庄）
- 第4位 第3分団（幾久富）
- 第5位 第6分団（栄）

消防団活動に参加しませんか

近年、消防団員の高齢化や若者の参加の減少により、全国的に消防団員数が減少傾向にあります。本市も例外ではありません。あなたも地域のために一緒に活動してみませんか。

問い合わせ先

総務課 交通防災班
（合志庁舎）
☎（248） 1112



服装や規律を正す通常点検



分列行進（右上）と幼年消防クラブによる防火の誓い（右下・左）



豊作と無病息災を願って 小正月の伝統行事

1月15日の小正月を中心に、どんどこや、綱引き、モグラ打ちなどが各地域で行なわれました。

どんどこやでは、竹で組んだ櫓を燃やし、残り火でもちを焼いたり、ぜんざいや豚汁が振る舞われました。

綱引きでは、編んだ大綱を奉納し、その後、2組に分かれ「ヨイシヨ、ヨイシヨ」と力を合わせて引つ張り合いました。



また、モグラ打ちでは、子どもたちが、竹や木の枝にわらを束ねてひもで縛ったもので、各家庭の庭先を「ねぎだれ、こぎだれ、13日のモグラ打ち」の掛け声とともに力強く叩いてまわりました。



今月の主な話題

- 新春の青空の下 カントリーパークを快走 合志市民健康カントリーマラソン大会 4
- 決意新たに 大人への第一歩 平成25年合志市成人式 5
- 「沖野遊水地」の活用について皆さんのアイデアを募集 6
- 合志市事業仕分けの検討結果 8

今月の表紙



1月12日、県農業公園カントリーパークで行なわれた合志市民健康カントリーマラソン大会。参加者は、家族や友達の声援を受け、元気よく走り、爽やかな汗を流しました。詳しくは、4ページをご覧ください。